

もったいない登録は、「私」のエコチャレンジ宣言

私たち一人ひとりが『環境に配慮した暮らし方』を宣言し、実践するしくみです。

項目は「ごみを分別する」「レジ袋を断る」など身近なものばかり。

1つでもできることがあればOKです！

さあ、できることからチャレンジしましょう！

今すぐ実践できる**10**のもったいない！

①省エネ機器を選ぶ



省エネ性能を示す
“省エネラベル”

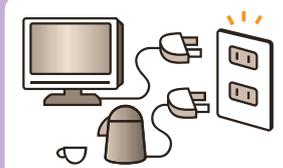
家電製品等を購入するときは、省エネルギー型機器を選んで購入します。

②不要な電気は切る



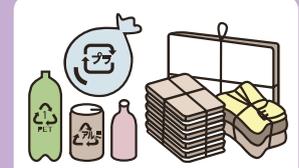
冷暖房や照明の使用を2割減らすと、年間238kgのCO₂が削減できます。
⇒年間で約10,400円の節約

③待機電力を減らす



待機電力を50%減らすと、年間60kgのCO₂が削減できます。
⇒年間で約3,400円の節約

④資源とごみを分ける



ごみの分別と資源化にしっかり取り組みます。

⑤長期間使用できるものを選ぶ

白熱灯に比べ、
蛍光灯の
寿命は
約6倍



白熱灯から蛍光灯に取り替えると、一灯あたり年間31.2kgのCO₂が削減できます。
⇒年間で約1,850円の節約

⑥食べ残しはしない



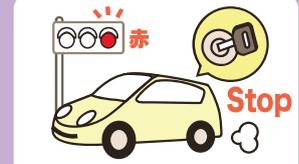
生ごみ(食べ残し)の発生を極力減らします。

⑦リサイクル品を優先的に使う



物を購入するときは、リユースできるもの、再生材やリサイクルしやすい素材を使用しているものなどを優先的に購入します。

⑧ガソリンの無駄遣いはしない



1日5分のアイドリングストップで年間39kgのCO₂が削減できます。
⇒年間で約1,900円の節約

⑨水を大切に使う

洗っている
間は
stop



1日1分シャワーを家族全員が減らすと、年間69kgのCO₂が削減できます。
⇒年間で約7,100円の節約

⑩レジ袋を断る



マイバッグを持参して、レジ袋を減らすと、年間58kgのCO₂が削減できます。

■もったいない登録はこちらから
 <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/0514/agenda/mottainai.htm>

かながわ環境家計簿『エコポ』も使えます！
エコポはインターネットを利用した環境家計簿で、パソコンから「水道」「電気」等の使用量を入力するとCO₂排出量が自動で計算されます。エコポを使って、日々の生活でCO₂がどのくらい排出されているかチェックしてみよう。

削減効果についての出典 (財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」、全国地球温暖化防止活動推進センター「家庭でできる温暖化対策」

この環境白書「概要版」は、「平成22年版かながわ環境白書」をもとに、
神奈川県の実情や取組をわかりやすくとりまとめたものです。

● 平成22年版かながわ環境白書 ホームページ ●

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kankyokeikaku/whitebook/index.html>